

### コアシンポジウム 3

#### 「消化管機能性疾患の新展開」－機能性消化管障害の現状と将来－

主司会 杉山 敏郎（北海道大学先進消化器がん分子標的治療研究部門）

副司会 塩谷 昭子（川崎医科大学消化管内科学）

消化管機能性疾患は、近年、「機能性消化管障害」と呼ばれ、機能性ディスぺプシア（FD）や過敏性腸症候群（IBS）等の疾患がある。病因として、消化管運動異常、内臓知覚異常、遺伝的素因、消化管ホルモンの関与に加え、炎症、細胞透過性亢進、さらに腸内細菌叢の異常、脳腸相関などから研究が進められてきた。また、胃運動機能改善薬に加え、便秘に関わる分子機構を標的とした新規治療薬が登場してきた。本コアシンポジウムでは、病態を解明し、新規治療につながる基礎的および臨床的研究を公募する。